

人口と世帯

人口	421,269人
男	208,136人
女	213,133人
(前月より69人減)	
世帯	180,798世帯
(前月より108世帯増)	
(2009年6月1日現在)	

発行・町田市 編集・政策経営部広報広聴課広報係
〒194-8520 東京都町田市中町1-20-23
市役所の代表電話042・722・3111
町田市コールセンター ☎042・724・5656
☎042・724・5600
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

今号の紙面から

2面

10月の介護予防月間で日ごろの活動を発表しませんか

7月は「社会を明るくする運動」の強調月間です

4面

薬師池公園ふれあい・ほおずき市

8月から 家庭用有料ごみ袋の 価格を引き下げます



新価格の袋はサイズ・価格を見やすくデザインした包装になります

問 ごみ減量課 ☎797・0530

家庭用有料ごみ袋1組(10枚入り)の新価格
[燃やせるごみ用・燃やせないごみ用共通]

袋の種類	新価格	現行価格
ミニ袋(5ℓ相当)	80円	100円
小袋(10ℓ相当)	160円	200円
中袋(20ℓ相当)	320円	400円
大袋(40ℓ相当)	640円	800円

8月1日から家庭用有料ごみ袋の価格を左表のとおり引き下げます。
現行価格のごみ袋が余らないよう計画的なご購入をお願いします。
※現行価格の有料ごみ袋は、8月1日以降も引き続き使用できます。
※新価格のごみ袋は7月31日から、従来どおり、ごみ袋取扱店で販売します。
【現行価格の有料ごみ袋が未開封(10枚1組)のまま残ってしまったら】
希望により、外袋が未開封のもの(10枚1組)に限り、新価格との差額相当分について有料ごみ袋をお渡しする方法で精算します。
○家庭用有料ごみ袋は、現行価格の有料ごみ袋10枚1組に

家庭用有料ごみ袋精算場所等一覧

精算場所	期間	時間
市役所本庁舎1F (開庁日は地下) 南、なるせ駅前、鶴川、忠生、小山、塚の各市民センター	8月1日(土)～21日(金) ※この期間は土・日曜日でも受け付けます。	8:30～17:00
町田リサイクル文化センターごみ減量課	8月3日(月)～2010年3月31日(水) 祝日及び年末年始を除く月～金曜日	

家庭でできる予防策を
6月22日、町田市内で初めて、新型インフルエンザの発症者が2人確認されました。発症者の行動範囲が限定的であり、感染拡大の可能性は低いと考えられます。市では今後の感染の状況を踏まえ、必要に応じて対策を講じていきます。
市民の皆さんは引き続き家庭でできる予防策を心がけて下さい。
○手洗いやうがいを日常的に行いましょう。帰宅時、食事や調理の前には流水とせっけんで手を良く洗い水分を十分にふき取りましょう

「咳エチケット」…咳、くしゃみ等の症状があるときには、必ずマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合はティッシュやハンカチで口と鼻を押さえ、ほかの人から顔をそらしましょう
○健康管理に気をつけて…十分な睡眠と休養、バランス良く栄養を取り、体力や抵抗力・免疫力を高めておきましょう
市ではこれからも広報・ホームページ等を通じて、随時最新の情報を提供しますので、正しい情報に基づき冷静な対応をお願いします。

対し、新価格との差額相当分(3枚、同じサイズのもの)をお渡します。精算時期と場所は、右表のとおりです。
※各販売取扱店での精算や現金による精算は、行いませんのでご注意ください。
※70歳以上の方等に無料配布したごみ袋は精算しません。

「雑紙」
と呼ばれている紙類は燃やせるごみに入れて、古紙として再資源化しましょう。
マイバッグを持参しましょう
買い物にはマイバッグを持参して、受け取るレジ袋の枚数を減らしましょう。

これからもごみ減量にご協力
ちょっとした心がけがごみ減量につながります。
生ごみを減らしましょう
食べ物「買いすぎない」「作りすぎない」ように。また、生ごみの約80%は水分です。できるだけ濡らさない、よく絞るといった水切りの徹底をお願いします。
雑紙を再資源化しましょう
空箱、包装紙、メモ用紙、チラシ、トイレットペーパーやラップの中芯など「雑紙」と呼ばれている紙類は燃やせるごみに入れて、古紙として再資源化しましょう。

【各施設との共催事業】

※会場及び問い合わせ先にご注意下さい。

- 親子向けワークショップ(ひなた村)
「望遠鏡をつくって、星空を観察してみよう」
○日時 8月1日(土)
A班: 望遠鏡製作午後4時30分～6時30分、
星空観察午後6時30分～7時30分(予定)
B班: 望遠鏡製作午後5時～7時、
星空観察午後7時～8時(予定)
○会場 ひなた村
○定員 各班15組30人(市内在住、在学の小・中学生とその保護者優先で抽選)
○費用 1組につき2000円(望遠鏡1つ分の材料費)
○申し込み ハガキに、催し名・住所・氏名・電話番号・学校名と学年を明記し、7月17日まで(消印有効)にひなた村(〒194-0032、本町田2863、☎722-5736)へ。
②連続講座「和時計の魅力」(まちだ中央公民館)
○日時 7月28日、8月4日、11日、18日(いずれも火曜日)午後2時～4時
○会場 まちだ中央公民館
○講師 国立科学博物館名誉研究員・佐々木勝浩氏
○定員 30人(市内在住の方優先で抽選)
○申し込み 往復ハガキに催し名・住所・氏名・電話番号を明記し、7月17日まで(消印有効)にまちだ中央公民館(〒194-0013、原町田6-8-1、☎728-0071)へ。



目覚付暦付台時計 江戸時代

○講師 国立科学博物館名誉研究員・佐々木勝浩氏
○費用 1組につき2000円(望遠鏡1つ分の材料費)
○申し込み ハガキに、催し名・住所・氏名・電話番号・学校名と学年を明記し、7月17日まで(消印有効)にひなた村(〒194-0032、本町田2863、☎722-5736)へ。
②連続講座「和時計の魅力」(まちだ中央公民館)
○日時 7月28日、8月4日、11日、18日(いずれも火曜日)午後2時～4時
○会場 まちだ中央公民館
○講師 国立科学博物館名誉研究員・佐々木勝浩氏
○定員 30人(市内在住の方優先で抽選)
○申し込み 往復ハガキに催し名・住所・氏名・電話番号を明記し、7月17日まで(消印有効)にまちだ中央公民館(〒194-0013、原町田6-8-1、☎728-0071)へ。

2009年はガリレオ・ガリレイが望遠鏡で天体観測を始めてから400年の記念の年として、世界天文年に定められました。
本展では、天体観測と密接な関係にある「時計」を紹介いたします。なかでも、江戸時代の和時計約30件が並ぶ展示は、時計ファンならずとも思わず見いってしまうもの。プラネタリウムの放映や解体ショー、同館2階講堂にて①②とも午後2時～3時30分。直接会場において下さい。
①8月2日(日)
「究極の和時計文字盤―不定時法表示の自動化―」
○講師 国立科学博物館名誉研究員・佐々木勝浩氏
②8月9日(日)午前11時～午後2時、午後2時～3時の2回
○定員 各回約100人(随時出入り自由)
※観覧会をより深く理解し、楽しんで頂けるように小冊子を1部100円で販売します(来館した小・中学生には無料配布)。
町田市立博物館 ☎726・1531

町田市立博物館 展覧会
天体観測と時計
世界天文年2009日本委員会公認企画
会期 7月18日(土)～8月30日(日)
時間 午前9時～午後4時30分
休館日 毎週月曜日、ただし、7月20日(祝)は開館、翌21日(火)は休館

佐々木勝浩氏
②8月16日(日)「小型天体望遠鏡―その仕組みと製造方法―」
○講師 天文研究者・児玉光義氏
【プラネタリウム】
同館2階講堂にて
①放映
○日時 8月6日(木)、7日(金)、8日(土)、開始時間は午前11時、午後1時、2時、3時、4時の5回、各回15分間
※放映開始後は出入り不可。
○定員 各回25人(開始30分前から同館1階ホールで先着順に受付)
②解体ショー
○日時 8月9日(日)午前11時～午後2時、午後2時～3時の2回
○定員 各回約100人(随時出入り自由)
※観覧会をより深く理解し、楽しんで頂けるように小冊子を1部100円で販売します(来館した小・中学生には無料配布)。
町田市立博物館 ☎726・1531